

# さいたま国際芸術祭実行委員会

## 第 1 回 総 会

### 次 第

日 時：令和 8 年 1 月 22 日(木)11 時 20 分～  
会 場：ときわ会館 5 階 大ホール

#### 1 開 会

#### 2 議 事

- (1) 議案第 1 号 令和 7・8 年度事業計画について
- (2) 議案第 2 号 令和 7・8 年度収入支出予算について
- (3) 議案第 3 号 プロデューサーの選任について
- (4) 議案第 4 号 アートプロジェクト・ディレクター及び市民プロジェクトディレクターの公募について

#### 3 そ の 他

#### 4 閉 会

**さいたま国際芸術祭実行委員会**  
**令和7・8年度事業計画**

さいたま国際芸術祭2027の開催に必要な準備を行うため、次の事業を行う。

**1 さいたま国際芸術祭実行委員会の開催**

産学官民の幅広い団体等の参加を得て、実行委員会総会を開催する。

	開催時期（予定）	主な内容
第1回	令和8年1月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7・8年度事業計画</li> <li>・令和7年度収入支出予算</li> <li>・プロデューサーの選任</li> </ul>
第2回	令和8年3月30日 14:30～15:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディレクターの選任</li> <li>・令和8年度収入支出予算</li> </ul>
第3回	令和8年8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度収入支出決算</li> <li>・開催実施計画の策定</li> </ul>

**2 さいたま国際芸術祭2027の企画**

- ・国際芸術祭の企画を担うディレクターを公募で選定し、開催テーマや事業内容を検討する。
- ・開催日程、開催会場、各プロジェクトの展開方針やその概要等を定める開催実施計画を策定するとともに参加アーティストを選定する。
- ・国際芸術祭の開催テーマを踏まえたロゴマークを作成する。
- ・広報活動の基本方針を定める広報戦略、公式ウェブサイトやSNS等を活用した情報発信、広報物による広報活動や広報イベントの概要等を定める広報・プロモーション計画を策定する。

## 議案第2号

さいたま国際芸術祭実行委員会  
令和7・8年度収入支出予算

## 【収入の部】令和7年度

(単位：千円)

区 分	予算額	説 明
さいたま市負担金	559	
その他雑入	1	○受取利息など
合 計	560	

## 【支出の部】令和7年度

(単位：千円)

区 分	予算額	説 明
事業企画費	0	
広報関係費	0	
委員会運営費	110	○実行委員会総会の開催に伴う会場使用料や委員旅費など
事務局運営費	450	○通信費、消耗品費など
合 計	560	

## 【債務負担行為】期間：令和7年度から令和8年度まで

(単位：千円)

区 分	限度額	説 明
事業企画費	32,028	○開催実施計画策定に係る事務局支援業務委託費 ○旅費など
広報関係費	11,493	○広報戦略の策定に係る業務委託費 ○WEBサイト制作・運用に係る業務委託費
委員会運営費	55	○実行委員会総会の開催に伴う会場使用料や委員旅費など
事務局運営費	300	○通信費、消耗品費など
合 計	43,876	

## プロデューサーの選任について

さいたま国際芸術祭実行委員会規約第10条第2項の規定により、プロデューサーを次のとおり選任することについて、承認を求めます。

職	氏名	委嘱期間
P3 art and environment 統括ディレクター	芹沢 高志	令和8年1月22日からさいたま国際芸術祭実行委員会が解散する日まで

### 【選任の理由】

- ・アサヒ・アート・フェスティバル、横浜トリエンナーレ、別府現代芸術フェスティバル等多数の芸術祭に携わり、国際芸術祭の企画運営について豊富な経験を有している。
- ・さいたまトリエンナーレ2016、さいたま国際芸術祭2020、さいたま国際芸術祭2023と、過去3回の開催全てにおいてプロデューサーやディレクター等として携わり、本市における国際芸術祭の開催運営や、本市の地理や歴史、多彩な文化芸術資源の知見を有している。
- ・本市で携わった過去3回の開催を通じて約138万人が参加し、日本最大級のアートメディアが発表した20年間のベスト展覧会で2位（2016）及び4位（2023）に選出されるなど高い実績を有している。
- ・市民参加型の国際芸術祭という本市ならではの国際芸術祭を作り上げるためには、アートプロジェクトと市民プロジェクトが連携し一体感を醸成する必要があり、プロデューサーには各プロジェクトをまとめ芸術祭全体を統括することが求められるほか、各ディレクターがプロジェクトの企画・制作に注力できるようサポートするための多くの経験や知見、広い人脈等を有することが求められることから、多数の芸術祭の経験のほか、さいたま市における実績及び知見があり、過去の開催を通して人脈も豊富である芹沢氏をプロデューサーに選任するもの。

## プロデューサー 略歴

### P3 art and environment 統括ディレクター

せりざわ たかし  
芹沢 高志 氏

1951年東京生まれ。

神戸大学理学部数学科、横浜国立大学工学部建築学科を卒業後、(株)リジオナル・プランニング・チームで生態学的土地利用計画の研究に従事。1989年にP3 art and environment を開設。帯広競馬場で開かれたとちかち国際現代アート展『デメーテル』の総合ディレクター（2002年）、アサヒ・アート・フェスティバル事務局長（2002年～2016年）、横浜トリエンナーレ2005キュレーター、別府現代芸術フェスティバル『混浴温泉世界』総合ディレクター（2009年、2012年、2015年）、『さいたまトリエンナーレ2016』ディレクター（2016年）、『さいたま国際芸術祭2020』参与、『さいたま国際芸術祭2023』プロデューサーなどを歴任。2012年から2021年まで、「デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）」のセンター長を務めた。

### 主な著書

『この惑星を遊動する：インターネット時代にもうひとつの生き方を求めて』（単著）岩波書店 1996年  
『月面からの眺め：21世紀を生きるヒント』（単著）毎日新聞社 1999年  
『別府』（単著）ABI+P3 2020年  
『言葉の宇宙船わたしたちの本の作り方』（港千尋 共著）ABI+P3 共同出版プロジェクト 2016年  
『宇宙船地球号操縦マニュアル』R. バックミンスター・フラー著（翻訳）筑摩書房 2000年

など

アートプロジェクト・ディレクター及び  
市民プロジェクト・ディレクターの公募について

### 1 公募の目的

さいたま市で開催する国際芸術祭の独自性を高めるため及びさいたま国際芸術祭基本構想に掲げる「さいたま文化の創造・発信を担う人材の育成」という趣旨に照らし、広く企画提案方式により国際芸術祭における各プロジェクトを統括するディレクターを公募するもの。

### 2 募集内容

募集区分	募集人員	主な職務内容	応募資格	謝礼
アートプロジェクト・ディレクター	各1人 または 各1組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマの決定</li> <li>・アートプロジェクトの企画立案及び実施における監督</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代アート等のアートプロジェクトに関わる分野での経験があること</li> </ul>	392,000円 ／月
市民プロジェクト・ディレクター		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民プロジェクトの企画立案及び実施における監督</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民等が参加し共につくり上げるアートプログラムに関わる分野での経験があること</li> </ul>	328,000円 ／月

※謝礼の額は経歴等に応じて、表示額を基準に協議の上、予算の上限の範囲内で決定

### 3 選考方法

	第一次選考	第二次選考
審査員	実行委員会事務局職員	プロデューサー、(公財)さいたま市文化振興事業団職員、実行委員会事務局職員
審査方法	提出書類による書類審査	プレゼンテーション審査
審査項目	年齢や経験(人材育成の観点から若手を優先)、レポート内容、職務経歴、本市との所縁	本市に対する理解・知識、コミュニケーション能力、実現性、取組意欲等

### 4 選考スケジュール(予定)

申込受付期間	令和8年1月26日(月)～2月9日(月)
第一次選考	令和8年2月中旬
第二次選考	令和8年3月上旬
委 嘱	令和8年4月1日(水)

※選考後、令和8年3月30日開催の第2回実行委員会総会において議決後に委嘱

※委嘱期間は委嘱日から実行委員会解散(令和10年3月末)までを予定